事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-07 し尿収集事業									
主管課	資源循環課	関連課 深沢クリーンセンター								
分野名	生活環境									
目標 (目標値)	減少していくし尿収集の効率化									
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人口	177,161人	176,669人	176,484人						
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	23,418千円	24,414千円	27,959千円						
	(国・県)									
	(負担金等)	7,240千円	11,452千円	10,573千円						
	(一般財源)	16,178千円	12,962千円	17,386千円						
	人員配置数	0.5人	1.2人	1.0人						
	人件費(千円)	4,529千円	10,768千円	9,387千円						
	協働のパートナー									
事務事業運営経費	総事業費(千円)	27,947千円	35,182千円	37,346千円						
	市民1人当りの経費(円)	158円	199円	212円						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横浜市				
	直営収集量	0kl	0kl	0kl	415kl	8,436kl				
	委託収集量	1,499kl	3,713kl	2,517kl	0kl	0kl				
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
処理手数料の口座振替世帯割合	△	目標値	22%	22%	23%	24%	25%			
		実績値	20%	19%						

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
し尿収集事業	23,418千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A ■B □C □D □E
	事業の概要	し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	対象世帯の減少により集金によるし尿処理手数料の納付世帯は減少しているが、口座振替による納付世帯の増加に努める必要がある。			
課題解決のための取組	賦課通知を送付するにあたって、口座振替への依頼文を合わせて送付した。			
未解決の課題				
今後の方針	効率的な集金体制の確保に向けて引き続き働きかけを行う。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長名 資源循環課長 古屋 善啓